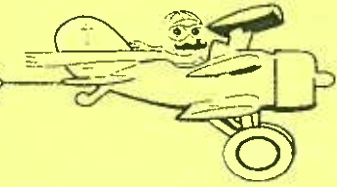


今日のテーマ

定期保険について

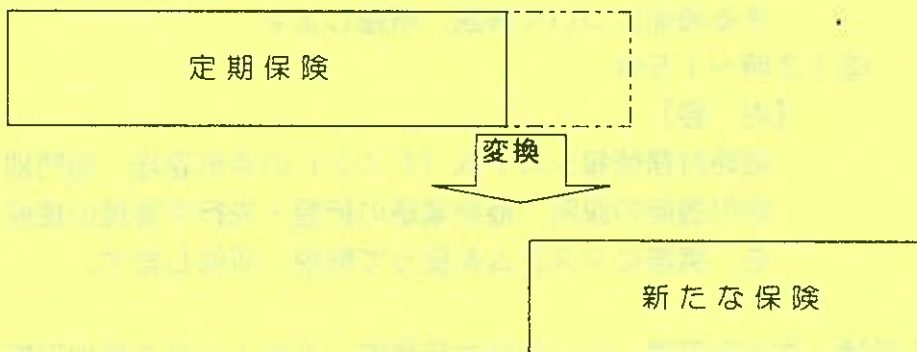


* 今回は、経営者保険として、一般的な定期保険について検討しましょう。

経営者保険には、保険料の損金算入できる定期保険がよく利用されます。定期保険は、一定期間の死亡を保障する保険です。保険期間満了時に健在であった場合には、受け取るものはない、俗にいう「掛け捨て保険」です。若年時代のみを保障すれば保険料は安く、高齢時代まで保障すれば保険料は高くなります。保険の選定に当たっては、保険会社により保険料が多少異なりますから、保険料のみに着目して、保険会社を選定しがちです。定期保険のもつ特徴として、「変換」を利用できることがあげられます。聞き慣れない言葉「変換」ですが、その内容は

保険会社の条件を満たす場合、**健康状態に関係なく新規保険加入ができる！**

ご加入後、このメリットを利用しない手はありません。極端な例ですと、保険期間満了の1ヶ月前にガンになり余命半年と宣告された場合でも「変換」を利用して、新たに保険加入が可能になるのです。ただし、保険会社により「変換」を扱わない場合や、扱う場合でも条件があります。



不況の長引く近年、最低限の保障を得るために利用することの多い定期保険ですが、ご加入なさる保険会社によって、その商品内容はかなり異なりますので注意しましょう。私どもでは、皆様のお役に立つべく情報提供をすすめてまいります。ご遠慮なくご相談ください。

今回は経営者保険として一般的な定期保険を取り上げてみました。実際にご自身のケースに置き換えて考えてみるとよいでしょう。生命保険の有利不利や損得勘定をすることは、なかなか難しいものです。具体的なご相談に應じますので、お気軽にお声をかけてみてください。



担当 渋谷 洋子